

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

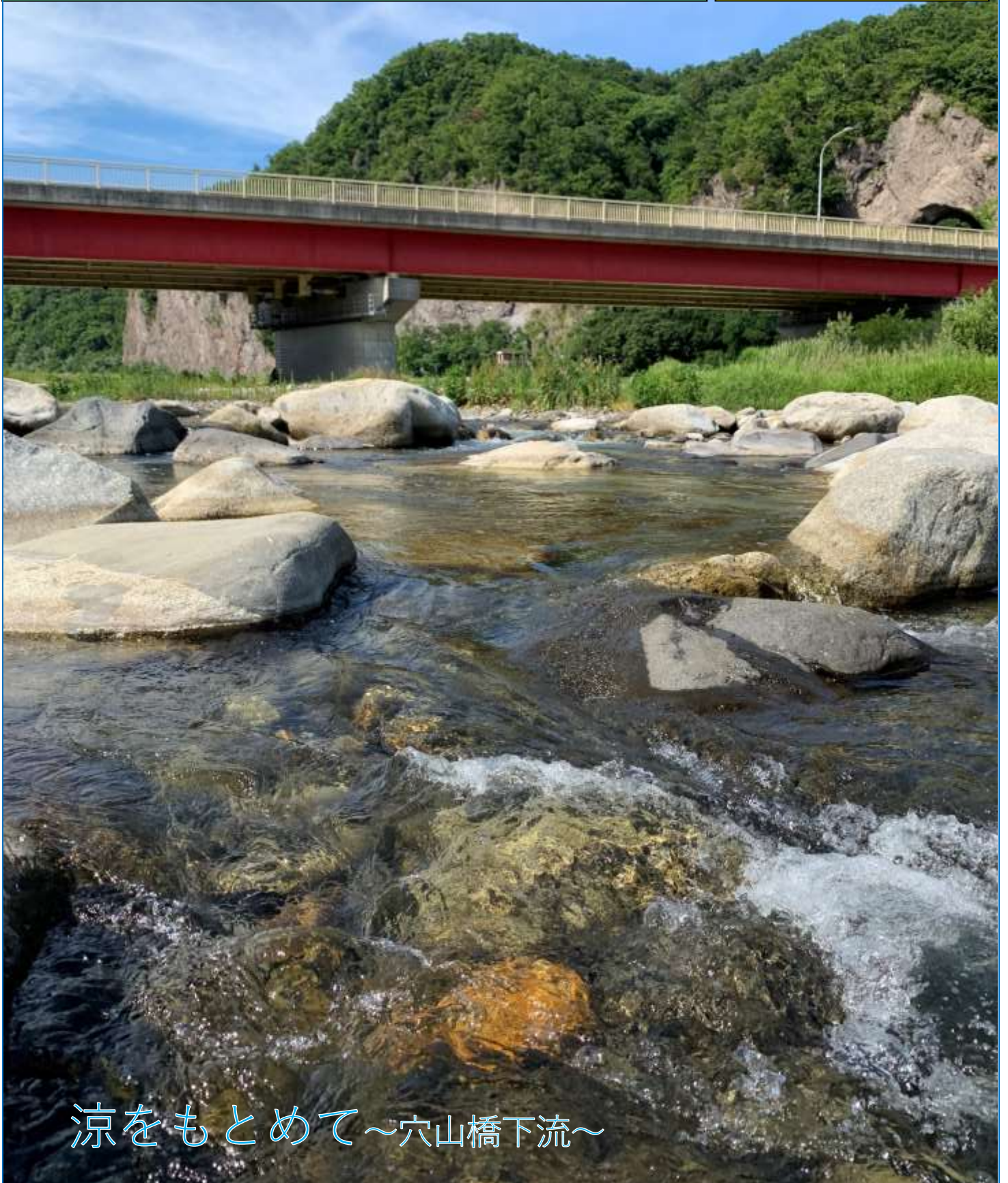
山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



涼をもとめて～穴山橋下流～



『時の流れに…』

社会福祉法人信和会 理事

相談支援事業所 さくら 所長

宮 沢 美 鈴

私が「信和会」にお世話になって、早35年。
今回機関紙へ寄稿する機会を頂いたので、恐縮ではございますが、この場を借りて自分語りをしてみたいと思います。

私は共働きの両親の間に次女として生まれました。私以外に姉・妹・弟の3人がいましたが、いずれも病気などで幼少時に亡くなりましたので、物心ついた時から一人っ子同然に育ちました。「一人っ子」と言えば、「甘やかされている」「わがまま」「世界は自分を中心に回る」と俺さまイメージが強い時代ではありましたが、我が家は母親が厳しく『ダメなものダメ』と怖かったこともあり、わがままが通る訳もなく、家では欲しい物は父親経由でねだることを覚え、周りからも『下に弟がいるでしょ!』と言われるほど、外では自分を抑えて周りに合わせる人間となりました。そして小学校時代はなぜかヤクルト配達や新聞配達をごく当たり前に行っていました。当時近所の人が行っていた仕事が年齢的にキツイから…という話を聞いた両親が、『じゃあ代わりにするよ…』とすぐ自然な流れで行うようになり、私自身も最初お遊び感覚でついていったことを切っ掛けに、いつの間にか両親はフェードアウトし、私が主で配達するようになりました。雨の日も雪の日も…、それはそれで良い生活リズムが付くのですが、特にヤクルト配達日は夕方とあって友達ちと遊べない理由が「ゴメン。今日はヤク(ルト)配る日だからダメ!」と今なら警察が飛んでくるレベルの断り方をしていた覚えがあります。ただ今でも不思議なのが、ヤクルト配達や新聞配達をしてもそのバイト代を手元にもらった覚えがありません。これはどこに行ったのでしょうか??

そんな私が『福祉』という世界に興味を持ったのは小学6年生。某テレビ番組で24時間に亘るチャリティーイベント番組を観た時です。子どもながらに『私は将来、車いすの人のお世話をする』なんて上から目線で思い立ったのが始まりでした。父親は看護師にしたかったらしいのですが、私自身注射が大の苦手なので「針を使う仕事には就かない!」と拒否。そして高校の進路担当に相談して、保育科がある学校に行くのが最短との助言を受け、あれよあれと…という間に縁あって「信和会」に就職することが出来ました。

入職当時は【措置】の時代とあり、新卒で入ったにも関わらず数年後には「〇〇先生」なんて呼ばれて、利用者との間には上下関係が生まれ、私自身大きな天狗になっていたことをここで謝罪します。ただこのような時代の中でも「信和会」は「地域の企業で仕事を覚える(今でいう施設外実習)」や「新府共選所への手伝い(今でいう農福連携)」を更生施設でありながらも当たり前に行い、障がいを持たれた方と地域の方との共存を普通にこなしていました。

そして時代は流れ、【措置】から【契約】へと移り、制度も【支援費制度】【総合支援法】と代わり、利用者との立場も側面フォローから後方支援へ…と関わり方にも変化が生まれました。35年の中で利用者も私自身も同じように年を重ねましたが、未だに入所施設を訪問すると「昔はこんなことがあった」と写真を見ながら話をしてくる利用者がいます。時代は変わっても一番の根っこには『人と人とのふれあい』があります。この心地よさはこの職務に就いた人にしか味わえません。

今、私の子ども二人も同じ世界に就いています。事業内容は異なりますが仕事上で関わり、時には支援者と相談員という立場で話をし、お互いに切磋琢磨する関係にあります。これからこの仕事の楽しさを二人に伝えつつ、時の流れに身を任せて前に進んでいきたいと思います。



【入職当時の職員集合写真(2列目左から3番目)】

本部だよい

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 荏崎市穴山町 5390
Tel0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

*今回はコロナ禍の状況も考慮し、理事会・評議員会とも
書面承認とさせていただきます。

理事会承認 : 令和4年5月30日

評議員会承認 : 令和4年6月10日

審議事項 :

第1号議案 令和3年度事業報告について

第2号議案 令和3年度決算報告について

第3号議案 令和3年度監事監査報告

第4号議案 諸規定変更及び事業経過報告について

【日本社会事業大学社会福祉学会(木田)賞】受賞

学会における社会
福祉の理論研究お
よび実践の奨励を
図ることを目的と
して設立された賞
に栗原理事長が選
出されました。



昨年度は新型コロナウイルス感染症における感染拡大に伴い、多くの皆様のご指導・ご尽力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

感染拡大に伴い、サービス活動費等の減少がありましたが現在は平年並みに戻りつつあります。また、予算の中で予測できなかった光熱費の高騰も今後の運営に影響が出るものと思っています。



地域社会における信和会の役割や集団での在り方など多くのことを学ばせて頂きました。現在では、その経験を活かし、荏崎市内はもとより他市町村においても情報提供を行うと共に対策についてアドバイスをさせて頂いております。感染症に対する注意は継続して対応を続けなければなりません、利用して頂いている皆さんが限られた空間だけで過ごすことなく、適度なレクリエーションを取り入れ楽しく生活して頂く事を願っております。

第三号第一様式(第二十七条第四項関係)

法人単位貸借対照表
令和4年3月31日現在

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	982,230,384	880,331,010	81,899,354	流動負債	157,553,021	111,257,372	46,295,649
固定資産	1,513,191,548	1,541,111,935	-27,920,387	固定負債	100,802,210	124,820,740	-23,818,530
基本財産	1,005,578,543	1,045,189,384	-39,610,841	負債の部合計	258,355,231	235,878,112	22,477,119
その他の固定資産	507,615,005	495,922,551	11,692,454	純 資 産 の 部			
				基本金	228,532,888	228,532,888	
				国庫補助金等特別積立金	255,198,838	271,229,435	-16,030,597
				その他の積立金	159,000,000	113,000,000	46,000,000
				次期繰越活動増減差額	1,578,334,947	1,574,802,500	1,532,447
				次期繰越活動増減差額	1,578,334,947	1,574,802,500	1,532,447
				(うち当期活動増減差額)	47,532,447	104,047,365	-56,514,918
				純資産の部合計	2,217,066,681	2,185,584,833	31,501,848
資産の部合計	2,475,421,932	2,421,442,945	53,978,987	負債及び純資産の部合計	2,475,421,932	2,421,442,945	53,978,987

第二号第一様式(第二十三条第四項関係)

法人単位事業活動計算書
(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

勘 定 科 目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動収益計(1)	895,883,427	881,112,441	-15,229,014
サービス活動費用計(2)	818,730,488	778,062,557	38,837,811
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	49,152,939	103,049,884	-53,896,945
サービス活動外収益計(4)	3,583,383	10,442,898	-6,859,515
サービス活動外費用計(5)	4,190,134	4,818,782	-628,648
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-606,751	6,823,914	-7,430,665
経常増減差額(7)=(3)+(6)	48,546,188	109,873,798	-61,327,610
特別収益計(8)	198,000	4,848,807	-4,650,807
特別費用計(9)	1,241,781	8,848,010	-7,606,229
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-1,043,781	-4,799,203	3,755,422
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	47,502,407	104,047,365	-56,544,958
前期繰越活動増減差額(12)	1,574,802,500	1,470,755,135	104,047,365
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,622,304,907	1,574,802,500	47,502,407
基本金取崩計(14)			
その他の積立金取崩計(15)			
その他の積立金積立計(16)	48,000,000		48,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,578,334,947	1,574,802,500	1,532,447

第一号第一様式(第十七条第四項関係)

法人単位資金収支計算書
(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

勘 定 科 目	決算(B)
事業活動収入計(1)	895,883,410
事業活動支出計(2)	741,315,648
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	128,151,162
施設整備等収入計(4)	198,000
施設整備等支出計(5)	38,586,888
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-38,387,888
その他の活動による収入計(7)	388,620
その他の活動支出計(8)	60,282,330
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-49,895,710
予備費支出(10)	-
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	39,887,554
前期末支払資金残高(12)	863,985,178
当期末支払資金残高(11)+(12)	893,882,732

穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



暑さに負けるな！ ～夏の疲れ、原因は生活習慣！？～

6月に梅雨明け宣言され、早くも夏本番となりました。今年の夏は暑く長くなりそうですが、穴山の里の利用者、職員ともに、朝、昼、晩の食事をしっかり食べ、よく眠り、元気に体を動かし筋肉を付け、暑い夏を楽しみながら乗り切っていこうと思います。皆様もどうぞお体にご自愛ください。

【理事長：栗原 信】



組織の一員として働く人間関係作り

6月24日、東京都社会福祉協議会ZOOM研修にて、仕事・組織における人間関係やビジネスマナーについて学びました。まず、仕事とは労働し、対価として報酬（お金）を得るものでありますが、その中には、共に働く人との関わりや協力が必要不可欠であるという事です。人間関係作りでは、心理的境界線を引くことが重要であります。心理的境界線とは、相手の領域に適度に入り込み、それを正しくコントロールして自分の領域に相手を入り込ませる心の境界線を指します。心理的境界線を引く際には、決して自分の心にシャッターを閉ざさず、相手と向き合うことが大切であります。また、ビジネスマナーの本質には、相手を尊重する気持ち、感謝の気持ち、誠意、思いやりの気持ちを伝えるというのがあります。ビジネスマナーを守る事とは、人間関係作りに大切な役割を持ち、相手も自分も安心して仕事が出来、信頼を築く上でも必要なものです。研修時、印象的だったことは、私地図を作成したことです。私地図とは自分を主軸とし、自分の取り巻く人との関係性を掘り下げ、改めて見つめ直す地図のことです。自分を取り巻く人は、家族、友人だけでなく仕事の経営者、お客さん、同僚(上司・後輩)も含まれます。そして、どの人間関係においても相手に対し「役割期待」を持っています。役割期待とは、相手に対し内心「こうしてほしい」「こうだと嬉しい」等、期待してしまうことを言います。この役割期待を互いに理解し実践することで、相手の内心の期待に応え、内心の期待を応えることで信頼関係が築かれ、生活する上でのより良い環境づくりが出来ることを学びました。



【穴山の里支援員：矢崎恵里佳】

穴山町 俳句コンテスト

7月1日から7月25日に渡り、穴山町俳句コンテストが、大賀ハス池にて開催しています。ハス池にはあなやまハスサブレの販売や、俳句の応募ポストが設置され、そのポストは穴山の里で作られたものを使用して頂きました。ポストの横には穴山の里の利用者（TM）さんが描かれた綺麗なハスの絵が添えられています。



2年ぶり！

共選場のお手伝い



2年ぶりに共選場のお手伝いへ行かせていただきました。2年のブランクを感じない手際の良さで皆さん箱折りや、ウレタン入れを行っています。

たなばた



7月7日、七夕行事を行いました。七夕の歌やお話を皆さんで楽しみました。今年は米川次長がパネルシアターで織姫と彦星のお話をしてくださいました。絵本より大きな画面で見やすく、皆さんの反応も大きかったです。



穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 荏崎市穴山町 5390
Tel 0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



異常に早い梅雨明けが宣言されて暑い夏が始まりました。コロナウイルスも収束の兆しに向かってい
ると見えてきましたが、このところ感染者が増加してきているようで、今後どうなるでしょうか。高温が続
くこの時期に、マスクをしての介護業務は大変な負担になっていますが“入居者を感染から防ぐために”
をモットーに頑張っております。お陰様で施設内では、一人の感染者を出すことなく今日までお過ごし
いただいていることは、長い間入居者への面会禁止の処置にご家族のご協力とご理解の賜物であり、感
謝申し上げます。

穴山の杜へ入社から3ヶ月を経て

介護職員 渡邊 太郎

私は今年の4月に特別養護老人ホーム穴山の杜に介護職員として入職しました。入職する以前に専門学校で2年間、
介護の勉強に励んできましたが、実際に介護職員として施設で生活する利用者のパッド交換や着脱介助などの様々な
介助をさせて頂いて、適切に介助する事が出来ない場面もあり、学校で学ぶ事と実際に介護現場で利用者の介助をす
る事の違いを身をもって実感し、これからは多くの知識や技術を身に付けていく必要がある事に気付かされました。

そして、今後も職員の方や利用者から様々な事を学ばせて頂き、その学んだ事をしっかりと活かして、利用者が安
全で快適に生活を送る事ができるように努力していきたいと思っております。

リーダー研修を受講し...

亀3丁目ユニット職員 林志穂

リーダー研修に4日間行ってきました。この4日間はとても充
実し、色々と学ぶ時間となりました。この研修で“ユニットケア
とは”と深く考えさせられました。

まず研修先のユニットに入って感じた事は、ユニットは利用者
の生活の場という事です。職員は利用者目線で、利用者の生活リ
ズムに合わせてサポートに入り、利用者主体で動かれていると感
じました。それと同時に、自分自身の課題がいくつか頭に浮かび
ました。指導して頂いているリーダーとの面談では「どのように
ユニットケアを進めてきたのか」、「他職種との連携」や悩みなど
聞く事が出来ました。その中で、私は特に「リーダーは自分の介
護観をしっかりと持った方がいい。そして、その介護観がブレない
ようにしていかなきゃいけない」という言葉が心に残りました。
研修を通して自分の介護観をさらに深める事が出来たので、この
介護観をしっかりと持ち続けて他の職員と共有し、ユニットが利用
者の生活の場になるよう頑張っていきたいと思っております。



負担
軽減に
向けて

今年度の事業計画として、介護業務の負担軽減を目
標とした介護ロボットの導入が計画されています。
その一環として移乗機器の検討を2社の製品につい
て行いましたが、まだまだ採用には至りませんでした。
これからも多くの情報を集め導入に向けて検討
を進めていきます。

嘔
吐
物
処
理
研
修



嘔吐物処理方法の研修を実施しました。まずガウン
や手袋等を装着し、ウイルスが飛沫しないようにペ
ーパー等で覆い被せ、次亜塩素酸ナトリウム希釈水
を静かにかけ約10分後外側から内側へよせなが
ら包み込むように拭き取ります。このような流れを模
擬体験で確認しました。日頃の感染予防に加え、二
次感染とならないよう注意してまいります。

いちに～さんし～♪



機能訓練の一つとして、口腔体操
や足踏み、ストレッチ体操などを
行っています。担当職員の声掛け
と映像に合わせて、腕を伸ばしたり
縮めたり、「パ・タ・カ・ラ」と
声を出します。元気よく！

わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



農福連携事業

令和2年度から韮崎市補助事業で始まった農福連携事業。
今年度より補助事業ではなくなり、本坊酒造株式会社 マルス穂坂ワイナリー様と契約させていただきました。🍇



北東小学校に行ってきました！

6月16日。韮崎市立北東小学校で、福祉講話の授業をしてきました。4年生の子供達と一緒に「障害を持つ方も仕組みや道具を使うことで、私達と同じ生活をしていること」「困った時には誰かに相談して解決するのは、私達も障害を持つ人も同じこと」を共有しました。

10月に第2回目があります。次回も楽しく一緒に考えられる授業にしていきます！



職員研修

「他の事業所も見たい！」という職員の思いを受け、NPO法人わたげの会リーフ韮崎様で全職員が研修をさせていただきました。今後職員のス킬アップを目指します。



今年度から生活介護の新たな活動に加わったキットパス。川口先生をお招きし、職員が体感して「楽しいだけじゃない、利用者の力になる活動」を考える研修となりました。

共同生活事業所

共同生活事業所（わ〜く穴山の里内）
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866



穴山町のパワースポット



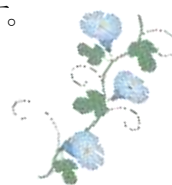
町内の【大賀ハス池】で、綺麗な蓮花が咲きました。
このハス池をみんなで守っていこうと「あなやまハスサブレ」を、今年から販売されていきました。利用者さん達も、日々働いて貯めたお小遣いの中から購入していました。利益は全てハス池の維持費として、使われるとのこと。これからも、綺麗な大賀ハスの花が見られるのを楽しみにしています。



☆祝傘寿 喜寿☆



今年、77歳と80歳になられたお二人のお祝いを兼ねて、穴山温泉能見荘さんにて感染対策に留意し、お食事会をしました。日頃お世話になっている方々とも一緒に、久しぶりの外食となり、皆さんとても嬉しそうに会を楽しんでいました。



余暇の時間

グループホームでは、余暇の時間にスリッパ入れや、爪楊枝入れ、畑づくり等…
それぞれ得意なこと・出来ることをして過ごしています。世話人さん達も一緒に余暇の時間を楽しんでいます。



穴山の杜短期

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
TEL: 0551-25-0800



生活にハ元気に頑張っています！！

施設では朝食が終わると機能訓練・介護予防の一環としてカラオケシステムを活用し、『音楽を使う』『体を使う』『目で見る』といったコンセプトから作られた音楽健康セッションプログラムを取り入れてリハビリ運動をしています。中でも利用者の皆様に好評なのが『ごぼう先生といっしょ！』体操です。口腔・上股・下股・握力それぞれの維持向を目的とし、その日によって有酸素運動のメニューにも参加しています。また椅子に座りながら行える体操も多く、流れる曲も『川の流れるように』『しゃぼん玉』のような馴染みのある曲なので、歌いながら無理なく手足を使い身体の可動域も広がられます。その後は機能訓練指導員を中心に考えた個別のバランス・歩行・立位訓練も実施しています。午後の時間にはカラオケや敷地内の散歩も行っており、施設生活が充実されるようにこれからも利用者の皆様やご家族のお気持ちを大切に、取り組んでいきたいと思います。



母の日・父の日

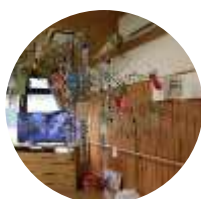


まだまだコロナ感染予防対策の為面会自粛の中、ご家族に代わり職員からの手作り“ありがとう”メッセージカードをプレゼントしました。思いがけないサプライズに驚かれ、嬉しそうに部屋に飾られていました。

6月2日はちみつと抹茶味2種類のどら焼きを作りました。久しぶりのおやつレクとなり、利用者の皆様も混ぜる、焼く、包むなど率先して頑張ってくれました。はちみつの甘〜い香りと抹茶の深〜い香りが館内に漂い、大好物の餡子に終始笑顔でした。



おやつ作り



梅雨が明け季節の変わり目を祝う年中行事として、短冊に願い事を書き七夕飾りをしました。笹の葉には神様の拠り所、手作りの輪つなぎには天の川、網飾りには豊作・大漁など一つひとつに意味があるそうです。7日昼には行事食として七夕素麺と星形コロッケを食べました。

余暇活動

お部屋の中での生活は少し退屈。みんなで楽しく自由にふれあえる時間として、毎月折り紙などをしています。春に製作した垂れ桜から青や紫などの折り紙を丸め、つるに見立てたテーブルに花卉を下垂させて、藤の花を作りました。また好みの色や組み合わせで個性あふれるアジサイの貼り絵も作成し、毎回華やかな作品に季節の移ろいを感じます。



6月24日厨房から出火を想定した避難訓練を行いました。調理員からの報告を合図に利用者の皆様、職員が本番さながら真剣に参加し、災害への備えに心を新たにしました。

防災訓練



非常時にもしっかりと人数把握を怠りません！



感謝 録

～ご寄付を頂きました～（敬称略）

古内保明

☆ボランティア

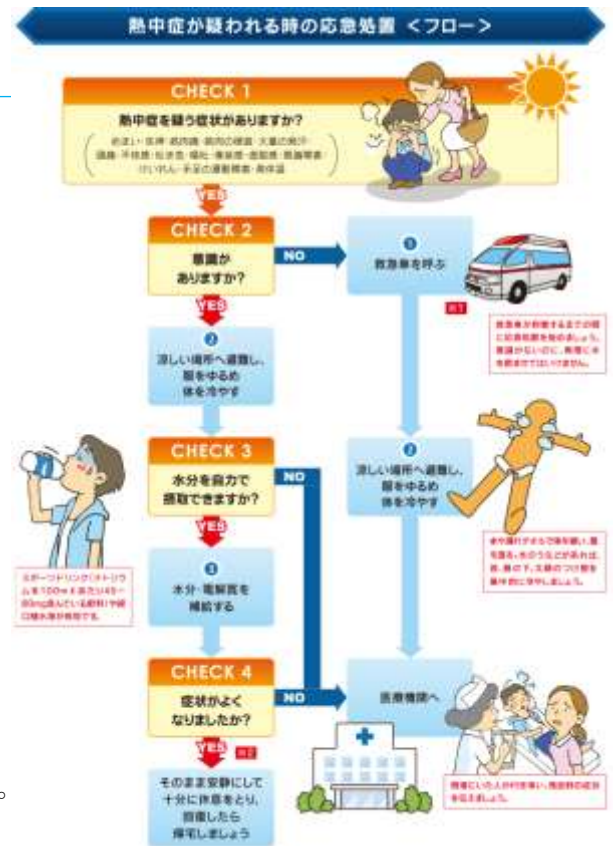
熱中症は予防が大事！

「3密」を避けながら、
十分な対策をとしましょう

- ・こまめに水分補給する
- ・エアコン・扇風機を上手に使用する
- ・シャワーやタオルで身体を冷やす
- ・部屋の温度を計る
- ・暑いときは無理をしない
- ・部屋の風通しを良くする
- ・涼しい服装にする。外出時には日傘、帽子を着用する
- ・緊急時・困った時の連絡先を確認する

訪 問 録

河村蘭夢



秋空に大輪の花火

※天候により中止する場合があります。※当日は穴山の杜敷地内での鑑賞は出来ません（遠目で見て頂く事となります）。※駐車場の用意は御座いません。

編 集 後 記

SDG's、フードロスなど身近なことから取り組んでいかなければなりません。(I. Y)